

(トイレ・洗面所用)

三菱ダクト用換気扇
(人感センサー・24時間換気機能付 DCブラシレスモーター搭載/定風量タイプ)

機能	風量自動切替タイプ	
形名	VD-10ZAVC6 VD-18ZASVC6	VD-13ZAVC6 VD-20ZAVC6

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付け方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ(半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど)やホルススイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生のおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。



形名表示位置

1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
--	------------------------------------------------	--	----------------------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		浴室での使用禁止		感電注意		指示に従う
--	----	--	-------	--	------	--	----------	--	------	--	-------

		警告	
	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。		●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
	●製品に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない ショート・感電の原因。		●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。		●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。

		注意	
	●直接炎のあるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。		●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
	●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで据付けを行う 落下によるけがの原因。
	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。		●部品の据付けは確実にを行う 落下によるけがの原因。
	●浴室など湿気の高い場所には据付けない 感電・故障の原因。		●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2. 据付け前のお願い

注意

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない
本体・部品の落下によるけがの原因。

据付けにあたって

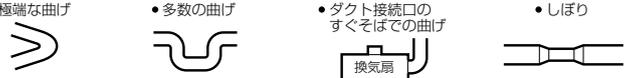
- プラスチックボディタイプダクト用換気扇およびダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 高温(40℃以上)になるところには据付けないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

据付位置

- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

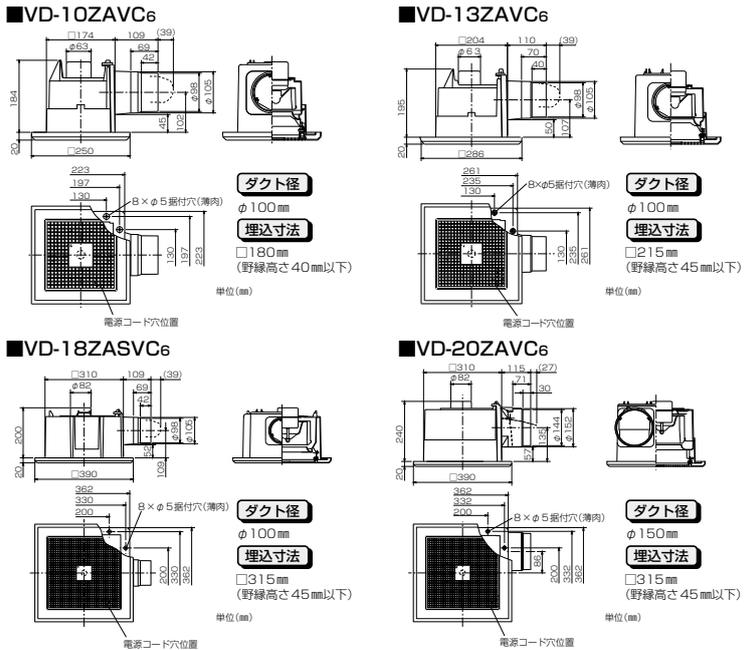
天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続口のすぐそばでの曲げ
 - しぼり



- 天吊金具を使用する場合、製品の着脱には天井裏での作業が必要です。天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品ご替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

3. 外形寸法図



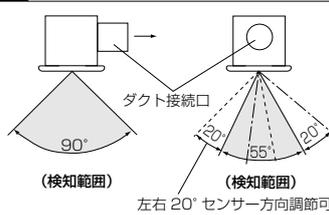
付属部品

形名	木ネジ
VD-10ZAVC6 VD-13ZAVC6	6本
VD-18ZASVC6 VD-20ZAVC6	9本

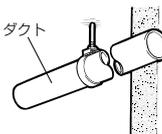
4. 据付方法

※天吊金具を使用される場合は別冊の「天吊金具を使用する場合」をご覧ください。

1 据付け位置決め



2 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)

3 野縁組立



内寸がA寸法、高さがB寸法以下になるよう天井の野縁と補助野縁で据付け枠を組む。

(野縁高さをB寸法以上で据付けると、シャッター開閉不良、異常音の原因となります)

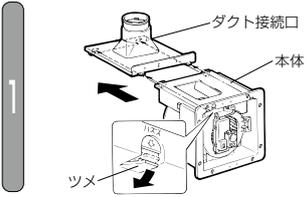
形名	A寸法	B寸法
VD-10ZAVC6 VD-13ZAVC6	180	40
VD-18ZASVC6 VD-20ZAVC6	315	45

お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付け穴のピッチと据付け穴の詳細図をご確認ください。A寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合が発生します。

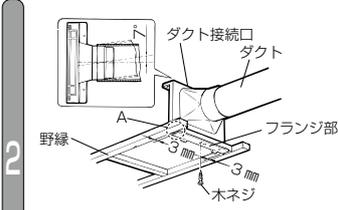
4. 据付方法 つづき

4 ダクト接続



ダクト接続口の取りはずし

- 本体内部のツメを矢印の方向に押さえながらダクト接続口を図のように本体から取りはずす。



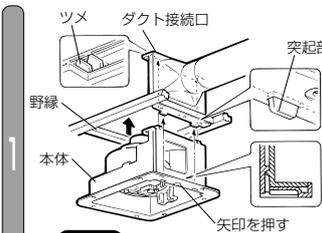
ダクト接続口の固定

- (1) ダクト接続口をダクトに差し込む。
- (2) ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ1本で野縁の中央に固定する。(両サイドに3mm (VD-18ZASVC6は30mm)ほどのすき間があきます)
 - VD-20ZAVC6は、ダクト接続口を野縁の角(左図A部)に合わせて、すき間がないよう付属の木ネジ1本で固定する。
 - 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

お願い

- ダクト接続口に無理な力が加わらないよう注意してください。(無理な力が加わるとシャッター開閉不良や風漏れの原因となります)

5 本体の据付け



本体の差し込み

- (1) 本体を野縁にそって差し込む。
- (2) ダクト接続口とのはめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の突起部を本体下部の角穴にはめ込む。
 - 本体フランジ部にある矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。

お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

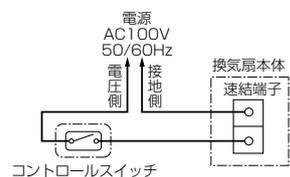
本体の固定

- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ5本 (VD-18ZASVC6、VD-20ZAVC6は8本) で本体をすき間のないようしっかりと固定する。(すき間があると風漏れの原因となります)
 - 据付穴は風漏れ防止のため薄肉がついていますので、木ネジ締め付けの際、木ネジ先端で薄肉部を突き破ってください。
 - 天吊金具を使用する場合は、付属の木ネジ4本で向かい合う2辺の据付穴を使用し、固定してください。
- (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

6 電気工事

電線工士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

■結線図(太線部分を結線する)



- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はお客様のご負担となりますので結線図を十分ご確認の上、結線してください。

■複数台運転について

- コントロールスイッチ1個で換気扇を複数台運転させる場合、下記の指定台数を超えないでください。換気扇の突入電流によりコントロールスイッチが故障する原因となります。

■コントロールスイッチ(ランプ付き)の使用について

- 定格0.5A-AC300Vまたは4A-AC300V仕様のコントロールスイッチ1個で運転できるDCブラシレスモーター搭載ダクト用換気扇の台数は1台です。

■コントロールスイッチ(ランプ無し)の使用について

- 定格15A-AC300V仕様のコントロールスイッチ1個で運転できるDCブラシレスモーター搭載ダクト用換気扇の台数は3台までです。
- VD-10ZAVC6、VD-13ZAVC6のみの組み合わせの場合は5台まで運転できます。

■適応コントロールスイッチ

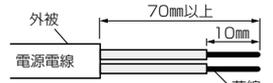
本体形名	コントロールスイッチ	
	形名	定格
VD-10ZAVC6 VD-13ZAVC6	P-11SWL2	0.5A-AC300V
VD-18ZASVC6 VD-20ZAVC6	P-10SWL2	4A-AC300V

- コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、運転状態でランプの点灯が薄くなった、ちらついたりすることがありますが異常ではありません。

■結線の前に

お願い

- 市販のコントロールスイッチで24時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。
- 電源電線の外被は70mm以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせ、皮むきすると便利です。(10mm以上むくと漏電の原因となります)
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから連結端子に確実に差し込んでください。(導電部10mm未満の場合、結線部外れの原因となります)
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください)



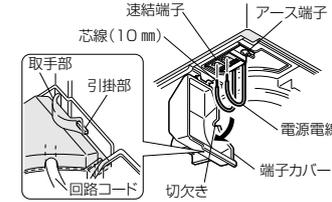
■結線方法

1. 本体上部のゴムプッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛け、下に引いて端子カバーを開け、連結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。(下図参照)
3. 端子カバーを元どおり取付ける。「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。

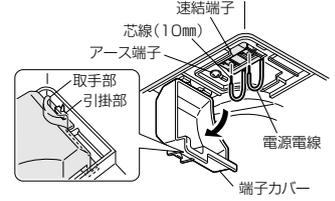
お願い

- VD-10ZAVC6、VD-13ZAVC6、VD-18ZASVC6の場合、回路用コードを端子カバーの切欠きにはめ込み、回路コードをはさまないように端子カバーを閉じてください。

■VD-10ZAVC6、VD-13ZAVC6



■VD-20ZAVC6



●電源電線ははずす場合

- マイナスドライバーで連結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずしてください。



故障ではありません

《検知しない・検知感が鈍い》

- 室温が人体温度に近い場合
- 人が静止している、または動きが少ない場合
- 本体運転スイッチが「切」の場合

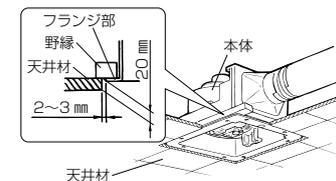
《勝手に作動する》

- 温風または赤外線を発生する暖房機を使用する場合
- 光や温度が急激に変化する(直射日光や白熱灯をそばで点灯させたときなど)
- 強力な電気雑音、大きな振動・衝撃が発生する場合
- カーテンなどのゆれるものや動物などの動きがある場合

《壁のランプ付コントロールスイッチのランプが暗いまたは点灯しない》

- 下記のように換気扇が停止している場合はコントロールスイッチのランプが暗いまたは点灯しない事がありますが異常ではありません
- 本体運転スイッチが「切」の場合
- 強運転と弱運転でコントロールスイッチのランプの明るさが異なりますが異常ではありません

7 天井材を張る

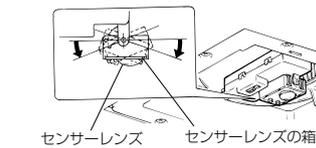


- (1) 天井材を張る。
- (2) 本体のフランジ部分と天井材は必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。

お願い

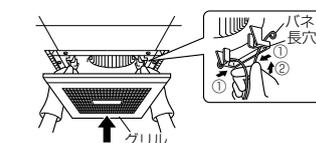
- 天井材の厚さは20mm以下で据付けてください。(グリルが天井材に密着しない場合があります)

8 センサー検知方向の調節



センサーの検知方向の調節(左右20°)はセンサーレンズの箱を指で動かす。

9 グリルの据付け



- (1) グリルのパネを指先で締め長穴に差し込む。パネは本体側へ片側ずつ差し込むとスムーズに据付けられます。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

別冊の「据付説明書 天井材の下に本体フランジを据付けの場合」へつづく

〔トイレ・洗面所用〕

三菱ダクト用換気扇

(人感センサー・24時間換気機能付 DCブラシレスモーター搭載/定風量タイプ)

機能	風量自動切替タイプ	
形名	VD-10ZAVC6 VD-18ZASVC6	VD-13ZAVC6 VD-20ZAVC6

据付説明書

販売店・工事店様用

4. 据付方法 つづき

天井材の下に本体フランジを据付ける場合

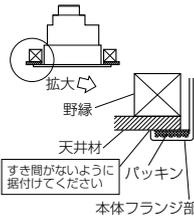
お願い 本体の据付けは天井材と本体フランジ部との間にすき間がないように据付けてください。
(天井材と本体フランジ部が密着しないと天井面とグリルの間にすき間が生じる場合があります)

パッキン材を使用する場合

●天井材と本体フランジ部の間にパッキン材を使用する場合は薄いもの・軟らかいものを使用し、据付状態ですき間がないようにしてください。

補強板を使用する場合

●天井面と本体フランジ部との間に補強板を入れる場合には、厚さが1mm以下のものをご使用ください。



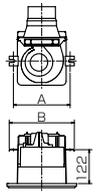
天吊金具を使用する場合

野緑に強度がない場合は天吊金具を使用して据付ける方法も併用してください。

下図の位置(単位:mm))にあらかじめ市販の吊りボルト(M8またはM10)を埋め込む。

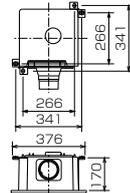
**VD-10ZAVC6
VD-13ZAVC6**

天吊金具P-02TKタイプ
(別売システム部材)
据付位置(2点吊り)
※イラストはP-02TKa



VD-18ZASVC6

天吊金具P-06TKタイプ
(別売システム部材)
据付位置(2点吊り)
※イラストはP-06TKa



VD-20ZAVC6

天吊金具P-02TKタイプ(別売システム部材)
据付位置(2点吊り)
天吊金具を2組使用すると、4点吊りが可能です。
2点吊りの場合は、対角の位置で用てください。
(イラストはP-02TKa)



※図中左上の天吊金具の位置にご注意ください。

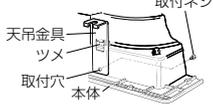
形名	P-02TKの場合		P-02TKaの場合	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
VD-10ZAVC6	206	233	206 (範囲: 205~213)	236
VD-13ZAVC6	236	263	236 (範囲: 235~243)	266

P-02TKの場合	P-02TKaの場合	
	A寸法	B寸法
341	368	341 (範囲: 340~348)
		371

お願い 本体付近に必ず点検口を設けてください。
本体着説の際、天井をはがさないと据付けられない場合があります。

P-02TKタイプの場合

※イラストはP-02TKa



P-06TKタイプの場合



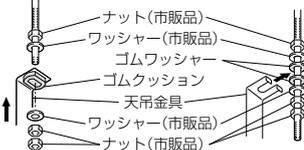
天吊金具(別売システム部材)のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定する。
●本体側の取付穴は風漏れ防止のため薄肉がついていますので、ネジ締め付けの前に薄肉部を貫通させてください。

お願い

●P-06TKタイプの場合、必ずダクト接続口を先に本体に据付けてから天吊金具を据付けてください。逆順ではダクト接続口が据付けられません。

P-02TK、P-06TKの場合

P-02TKaの場合



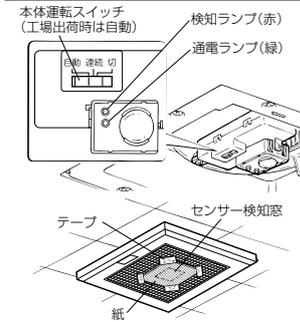
本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに据付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。

お願い ●下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用やダブルナットなどにより緩み止めを施してください。

5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチがある場合は、切/入が正しくできるか確認してください。
 - 異常な音や振動がないか確認してください。
 - 羽根が外れていないか確認してください。(VD-10、13タイプ)
- ◀**お知らせ**▶ ●電源投入後、羽根が回転を始めるまでに2秒程度かかります。
※運転が安定するまでに数十秒かかります。
●定風量換気運転中は運転音に変化する場合がありますが、これは換気風量を適正に確保するための自動制御によるものであり異常ではありません。

試運転手順



- (1) グリルをはずす。
- (2) 本体運転スイッチを「切」にする。
- (3) 本体運転スイッチを「自動」にする。
●通電ランプ(緑色)が点灯し、約1分間強制運転する。その後、自動運転モードに切り替わるので、センサーが人を検知するよう手などを動かす。検知すると検知ランプ(赤色)が1回点滅し、弱運転から強運転に切り替わる。
- (4) グリルを据付ける。
- (5) 紙を用意して、左図のようにセンサー検知窓にテープなどを貼りつけてふさぐ。約11分間運転した後、弱運転に切り替わる。
- (6) 紙をはずす。
センサーが人を検知すると強運転に切り替わる。

◀**お知らせ**▶ ●壁のランプ付コントロールスイッチのランプが暗いまたは点灯していないことがあります。●上記試運転どおりの動作とならない場合、別冊の「据付説明書 6 電気工事」**故障ではありません**をご覧ください。

お客様への説明 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者(オーナー、ゼネコン)または管理者に説明してください。

6. 修理を依頼する前に

●試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
本体運転スイッチ(コントロールスイッチ)を入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	本体運転スイッチが「切」になっている	本体運転スイッチを「自動」または「連続」にする
運転中に異常な音や振動がする	正しく結線されていない	結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む (VD-10ZAVC6、VD-13ZAVC6)
	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定(天吊金具・ネジ止め)が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい(ガラリ・アンダーカット)	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい(ダクト配管)	ダクトのつづり、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい(屋外フード)	屋外フードのほこりを清掃する(特にリフォーム時)
	羽根が本体に接触している	羽根をモーター方向に押し込む (VD-10ZAVC6、VD-13ZAVC6)